

伊賀市環境基本計画進行管理シート（2023-2026）基本事項

1. 目的

この伊賀市環境基本計画進行管理シートは、伊賀市環境基本計画（2023-2030）に定める目標及び市の具体的な取り組みを着実に推進するため、計画期間の中間である 2026 年度における中間達成目標及びそれまでの各年度の KPI を設定します。

なお、当該進行管理シートを取りまとめたものを「伊賀市環境基本計画実行計画（アクションプラン）」とします。

2. 計画の内容

①実行計画の内容

(ア) 伊賀市環境基本計画の 6 つの「基本目標」の中に位置づける施策ごとに、当該施策所管課が主体的に取り組む KPI を設定します。

(イ) 伊賀市環境基本計画の 6 つの「基本目標」にそれぞれ「数値目標」を設定しています。当該「数値目標」に関連する所属において、上記同様各年度における「数値目標に対する年度別目標」を設定します。なお、(ア)と内容が重複する場合は、再掲も可能です。

②数値目標設定の考え方

- 施策ごとに、中間達成目標を設定し、それを実現するための事業内容に基づく KPI を設定します。
- 一つの間達成目標に複数の KPI が紐づくことが想定されますが、そのうち現に実施している、又は、実施可能な取り組みを KPI として設定してください。その場合、指標とした KPI 単独では中間達成目標を達成することにはなりませんが、指標としない他の取り組みについても、本シートにおいて管理はしないものの、各所属の所管業務として推進していくものと考えます。

③年次報告書

- 伊賀市環境基本条例第 10 条「市長は、環境の状況及び環境の保全形成に関して講じた施策について、年次報告書を作成し、公表しなければならない。」との規定に基づき、必要な事項を毎年度取りまとめ、進行管理シートの KPI の実績報告と併せて伊賀市環境審議会に報告するとともに評価いただき、「年次報告書」として公表します。
- 年次報告書に記載する「環境の状況」については、本市が独自で調査等を行った項目のみとします。
- 環境基本計画参考資料に取りまとめた各調査結果には、県等他主体の調査結果が含まれていますが、それらについては年度ごとの年次報告書には記載しないこととします。それらの公開時期は、当該年度終了後半年から場合によっては約 1 年後になり、実行計画の実績報告としてはタイミングが遅すぎることで、また、各主体が調査結果についてホームページ等で公開したデータを転記するだけの形となり、報告書の取りまと

めを遅らせてまで敢えて市として改めて取りまとめる必要性が低いことが理由です。

- ただし、環境基本計画の中間見直しを、4年目を目途に実施する際には、他調査主体による各調査項目の4年間の推移を含め、参考資料を取りまとめることとします。

3. 計画期間

①計画期間とPDCAサイクル

- 伊賀市環境基本計画の計画期間は、2023（令和5）年度から2030（令和12）年度の8年間です。
- ただし、地球規模での環境に対する世界の情勢、国の法令改正・環境基本方針の変更、地域社会情勢や本市を取り巻く環境の変化、科学技術の発展、さらに、計画の達成状況などにより必要に応じて、計画期間中に関わらず見直す場合があるとしています。
- こうした見直しの必要性の検証や変更内容の検討に資するため、実行計画の計画期間を2023（令和5）年度から2026（令和8）年度の4年間とし、各年度においてKPIを設定し、PDCAサイクルによる進行管理を行い、事業の継続的な改善を図ります。

②見直しについて

- 環境基本計画の見直しについては、各年度における実行計画の実績報告書及びその他関係諸状況を総合的に判断し、計画期間中間の4年を目途に見直しについて検討することとしています。
- 実行計画の見直しについては、毎年度の実績報告等を踏まえ、伊賀市環境基本計画推進会議が適宜修正を行い、市政運営会議において庁内に共有し、伊賀市環境審議会に報告します。

4. 推進体制

①環境基本計画推進会議について

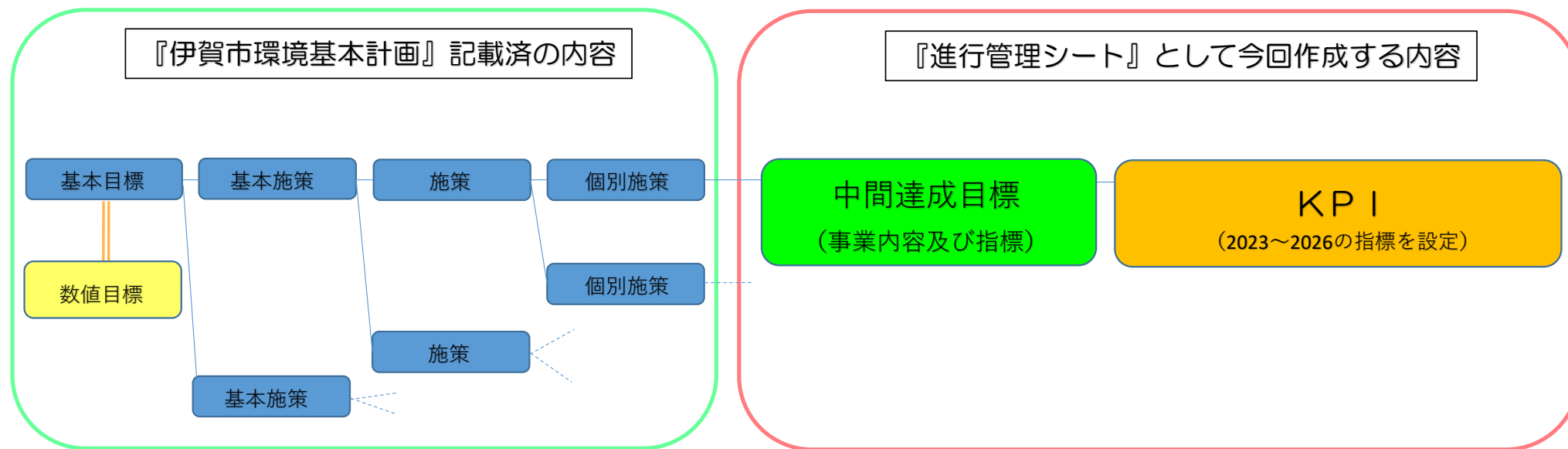
- 伊賀市環境基本計画を効果的に推進し庁内の連携を図るために設置しています。（第1条）
- 所掌事項は、①計画の推進に関すること。②年次報告書に関すること。③その他、計画に係る事項に関すること。（第2条）となっています。
- 本年度は、実行計画の策定を行います。
- また、年度末ないし翌年度当初に、本年度の実績報告の確認及び年次報告書の取りまとめを行います。

②実績報告、評価、公表について

- 各年度終了後、各担当課からのKPI達成状況等の実績報告を取りまとめます。
- 実績報告を伊賀市環境審議会に報告し、評価をいただきます。
- 最終的に、年次報告書として取りまとめ、市ホームページ上で公表します。

【伊賀市環境基本計画 進行管理シート K P I 設定イメージ】

資料 2



- (ア) 伊賀市環境基本計画の計画期間は、2023（令和5）年度から2030（令和12）年度までの8年間となっています。長期の計画期間であるため、中間となる2026（令和8年度）を目途に中間見直しを図ることとしています。そこで、個別施策ごとに、2026（令和8）年度までの中間達成目標及びそれを実現するためのK P Iを設定してください。
- (イ) 中間達成目標に関連するK P I が複数考えられる場合がありますが、進行管理シートに記入していただくのはそのうちの主なものの一つで結構です。
- (ウ) K P I は、現に実施している、又は、実施可能な取り組みについて、定量的な数値目標を設定してください。中間達成目標については、施策によっては定量的に表現することが難しい場合もあるかと思いますが、定性的な目標設定でも構いません。
- (エ) 伊賀市環境基本計画本編内の各『基本目標』に直接設定している「数値目標」については、同計画策定経過の中で次のように整理しています。
- ・各『基本目標』内の個別施策は多岐にわたっているため、一つずつ設定した「数値目標」が全体を統一的・網羅的な目標設定と出来ない場合もある。
 - ・その場合は、各『基本目標』内の主な施策についての「数値目標」を、他を代表して記載することとする。
- このような事情により、各『基本目標』の「数値目標」は、上記K P I と別シートにより管理することとします。

伊賀市環境基本計画 進行管理シート

施 策 No.		施策	各施策内容	担当所属等	中間達成目標 (事業内容及び指標) (2023～2026)	K P I (上段：目標／下段：実績)				備考
						2023	2024	2025	2026	
	基本目標 1 地球環境 気候変動への対応等による地球環境の保全									
	基本施策（１）温室効果ガス削減									
	1	施策 1 温室効果ガスの排出抑制	国、県の計画に沿って、2030（令和12）年度に、温室効果ガスを2013（平成25）年度比で46％削減するという目標を達成できるよう、本市においても市民・市民団体・地域・事業者・行政が一体となり取り組みます。							
	2		市は、「伊賀市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）」で策定した事務事業に取り組みます。							
	3		地球環境問題や市の施策について、市のホームページや広報を通じ情報を共有し啓発を行います。							
	4	施策 2 再生可能エネルギーの推進	再生可能エネルギーの普及を図るよう啓発を行います。							
	5		公共施設での再生可能エネルギー導入推進に努めます。							
	6	施策 3 自家用車利用の抑制等の促進	自家用車の利用機会を減らし、公共交通機関の利用促進に係る啓発を行います。							
7		エコカー（電気自動車等）の利用や、エコドライブの推進に努めます。								
8	施策 4 情報通信技術等を活用した持続可能なまちづくりの推進	DX(Digital Transformation)、IT (Information Technology)、IOTなど（以下「DXなど」）を積極的に活用し、組織の業務等の効率化を図ります。								
9		第一次産業の I T 化を推進し、農作業の省力化・効率化に取り組みます。								
基本施策（２）気候変動への適応										
10	施策 1 防災対策の維持	豪雨災害等に備え、河川や山林の適正維持に努めます。								
11	施策 2 気候変動に係る啓発	地球温暖化に伴う台風の大型化等、気候変動に係る最新情報の発信に努めます。								

伊賀市環境基本計画 進行管理シート

施 策 No.		施策	各施策内容	担当所属等	中間達成目標 (事業内容及び指標) (2023～2026)	K P I (上段：目標／下段：実績)				備考
						2023	2024	2025	2026	
	基本目標 2 資源循環 持続可能な資源循環の推進									
	基本施策（１） ☐ み減量化の推進									
12		施策 1 ごみの排出抑制	「生ごみ処理容器」を保有していない方へ助成金制度を周知することで、購入・利用の促進を図り、ごみの減量化を図ります。							
13			ごみの減容化の方法やごみの発生の少ない商品に関する情報提供を行います。							
14			食べ物を必要以上に作りすぎることの無いよう、啓発等に努め、家庭系、事業系の食品ロスの削減に努めます。							
15			回覧板などのペーパーレス化を促進します。							
	基本施策（２） ☐ サイクルの推進									
16		施策 1 リサイクルの促進	4 R（リフューズ（断る）・リデュース（減らす）・リユース（再使用）・リサイクル（再資源化））活動のさらなる推進を図ります。							
17			現在使用している「ごみ収集分別表」や「ごみ分別アプリ」の記載内容を改訂し、さらにわかりやすくすることでごみ分別、資源化の徹底を図ります。							
18		市民や各団体が実施する資源回収活動を促進します。								
19		施策 2 リサイクル施設の整備	さくらリサイクルセンター資源化処理施設等の設備の充実を図ります。							
	基本施策（３） ☐ みの適正処理の推進									
20		施策 1 一般廃棄物の適正処理の推進	ごみ処理に係る経費削減及び効率化を図るため、国が推進する「持続可能な適正処理の確保に向けた、ごみ処理の広域化及びごみ処理施設の集約化」を計画的に進めます。							
21			一般廃棄物処理計画に基づく効率的な収集や適正処理を行います。							
22		焼却施設、さくらリサイクルセンター資源化処理施設等について、適正な維持管理を行います。								
23		市外から持ち込まれる一般廃棄物は、適切な監視や指導を行います。								
24		施策 2 産業廃棄物の適正処理の推進	産業廃棄物処理施設の新設や既存施設の稼働については、本市の良好な自然環境を守るため、県や関連機関と連携し、指導要綱に基づく指導を行います。							
25		施策 3 不法投棄の防止	ごみの不法投棄の監視に努めるとともに、不法投棄防止のための啓発を行います。							

伊賀市環境基本計画 進行管理シート

施 策 No.		施策	各施策内容	担当所属等	中間達成目標 (事業内容及び指標) (2023～2026)	K P I (上段：目標／下段：実績)				備考
						2023	2024	2025	2026	
基本目標 3 豊かな自然 豊かな自然と生物多様性の保全										
基本施策（１）豊かな自然環境の保全										
26		施策 1 水辺の保全	河川や道路の工事は、濁水を発生させないなど生態系に配慮し行います。							
27		施策 2 森林の保全	森林の多面的機能が発揮されるよう、間伐などによる森林整備を行います。							
28			市民、NPOやボランティア団体等と協働のもと、里山の保全や持続的整備を推進します。							
29		施策 3 農地の保全	「人・農地プラン」や「農地中間管理事業」などの制度を活用し、遊休・荒廃農地の発生抑制、再利用を推進します。							
30			地産地消を推進して市内産の農産物の消費量を拡大し、作付面積を増やすことで田園環境や里山の維持、保全に努めます。							
31			国の「みどりの戦略システム」や環境保全型農業直接支払交付金事業を活用するなどし、有機農業をはじめとする持続可能な農業を推進します。							
32		施策 4 「流域圏SDGs」の取り組み	「伊賀城和定住自立圏共生ビジョン」に基づき、圏域構成市町村が連携して、木津川流域の保全、整備、活用に取り組みます。							
33			圏域内で連携し、河川環境保全への意識の高揚・定着を図る啓発事業を行います。							
34			幼少期から圏域住民としての一体感を養うための交流を通して、エリアプライド（圏域の誇り・自尊心）の醸成に取り組みます。							
基本施策（２）生物多様性										
35		施策 1 希少野生動植物種の保護	大規模開発については、希少野生動植物種を保護するため、環境アセスメントの実施について、国・県と連携して指導します。							
36			希少野生動植物種の保護・育成を行うための支援を行います。							
37			希少野生動植物種がみられる河川・湿地帯の保全に努めます。							
38			生物多様性を総合的・計画的に保全するため、基本的な方針を定める生物多様性地域戦略の策定を検討します。							
39		施策 2 外来生物への対応	特定外来生物については、国や県と連携し、状況把握や情報発信を行います。							

伊賀市環境基本計画 進行管理シート

施 策 No.		施策	各施策内容	担当所属等	中間達成目標 (事業内容及び指標) (2023～2026)	K P I (上段：目標／下段：実績)				備考
						2023	2024	2025	2026	
		基本施策（３）公園の整備や緑化								
40		施策 1 公園の整備や緑化の推進	公園、緑地の適切な維持管理を行います。							
41			公園の計画的な整備を行います。							
42			市民農園の貸出し等、自然とのふれあいが図れる施設の紹介を行います。							
43		施策 2 緑化の推進	事業所等の敷地内で自然を取り入れた緑化推進のための啓発を行います。							

伊賀市環境基本計画 進行管理シート

施策 No.		施策	各施策内容	担当所属等	中間達成目標 (事業内容及び指標) (2023～2026)	K P I (上段：目標／下段：実績)				備考
						2023	2024	2025	2026	
	基本目標 4 生活環境									
	安心・安全に暮らせる生活環境の確保									
	基本施策（１）凶害発生の防止									
44		施策 1 事業所等への指導・監視の強化	事業所等の大気汚染や悪臭防止のために県と連携し、生産工程の設備などによる固定発生源対策の推進に努めます。							
45			自動車や事業所等の悪臭や騒音・振動に係る測定・調査の実施及び指導や助言、啓発を推進します。							
46		現在、本市では、悪臭の22物質について濃度規制を行っていますが、においを発生する物質はこの22物質以外にも存在していることから、今後は人間の嗅覚によって数値化した臭気指数で規制する方向で検討していきます。								
47		水質監視・悪臭測定等、伊賀市環境センター機能を充実し、環境監視の強化に努めます。								
48		施策 2 有害化学物質の適正管理の推進	事業所に対し、有害化学物質の排出抑制に関する指導・助言を行います。							
49			有害な化学物質についての適正使用や保管に関する情報提供を行います。							
50		施策 3 生活排水対策の推進	国、県、関連団体と連携した河川水質監視を実施します。							
51			合併処理浄化槽の設置及び維持管理に関する啓発を、生活排水対策重点地域を中心に行います。							
	基本施策（２）住生活環境の保全									
52		施策 1 土地等（空き家等）の適正管理に関する指導	周辺の生活環境保全のため放置することが不適切である状態の空き家について、「空き家等対策の推進に関する特別措置法」に基づく措置を講じます。							
53			空き地の雑草等除去に関する条例に基づき、住宅地の空き地等が適正に管理されるように努めます。							
54		「伊賀市土砂等の埋立て等による土壌汚染及び災害の発生の防止に関する条例」に基づき、市外から汚染された土壌が持ち込まれることがないように努めます。								
55		施策 2 生活環境保全に係る相談	野焼きの煙等、生活環境の保全に係る相談や関連情報の発信を行います。							
56		施策 3 健全な水循環の維持	適正な地下水採取の維持等により、水資源の保全に取り組みます。							

伊賀市環境基本計画 進行管理シート

施策 No.		施策	各施策内容	担当所属等	中間達成目標 (事業内容及び指標) (2023～2026)	K P I (上段：目標／下段：実績)				備考	
						2023	2024	2025	2026		
基本目標 5 文化環境											
歴史・文化を暮らしに活かす文化環境の確保											
基本施策（１）園化環境の維持											
57		施策 1 歴史的・文化的施設の保全・管理と有効活用	周辺の自然環境や生活環境と調和した歴史的・文化環境の適切な保存管理を行います。								
58			すべての文化芸術活動の充実を図るための環境整備を図ります。								
59		歴史的・文化的遺産を地域資源として活用し、文化芸術環境づくりを進めます。									
60		文化活動への参加等を促進し、文化芸術の持つコミュニケーション力や表現力、共感力、想像力等の社会包摂機能を活かし、市の社会的課題の解決に取り組めます。									
61	施策 2 郷土の歴史が育んできた文化環境の保全	松尾芭蕉等先人達の遺産である郷土の文化環境に触れる機会をつくります。									
62		郷土の豊かな自然環境を舞台にした伝統的行事などの保存と継承に努めます。									
基本施策（２）園文化共生と地域環境づくり											
63		施策 1 多文化共生意識の醸成	国籍や言語を超えた交流行事等により、多様な文化を受け入れる意識を醸成します。								
64		施策 2 外国人住民等の地域社会への参画推進	外国人住民等が様々な地域活動に参画し、環境保全に貢献できる機会をつくります。								
65			災害や感染症拡大等緊急時を含む、生活環境を守る協働体制を確立します。								
基本施策（３）環境保全の基礎となる平和尊重の推進											
66		施策 1 戦争等による環境破壊を許さない啓発事業	パネル展等により、環境保護の基礎となる平和尊重の意識啓発を行います。								
67			次代を担う若い世代が、核兵器の恐ろしさや平和の尊さを学ぶ事業として、伊賀市非核平和推進中学生広島派遣事業等を行います。								
68			様々な機会を通じた啓発により、平和な社会を脅かす差別や格差を許さない人権文化の確立に努めます。								

伊賀市環境基本計画 進行管理シート

施 策 No.		施策	各施策内容	担当所属等	中間達成目標 (事業内容及び指標) (2023～2026)	K P I (上段：目標／下段：実績)				備考
						2023	2024	2025	2026	
	基本目標 6 環境教育									
	環境教育・環境学習の推進									
	基本施策（１）環境教育・環境学習の充実									
69		施策 1 環境教育・環境学習の体制づくり の推進	各学校において、学習指導要領に基づき、発達の段階に応じた「環境教育に関する全体計画」を作成し、各教科や総合的な学習の時間、特別活動などにおける環境に関する教育の充実を図ります。							
70			「学校環境デー」として、毎年6月5日を基準日とし、各校で家庭・地域等と連携した取り組みを推進します。							
71		「ノハナショウブの保護活動」や「菜の花プロジェクト」など、地域や学校の実態・特性を生かした環境美化・環境保全活動に取り組みます。								
72		施策 2 小中学生向け環境教育及び大人向けの環境教育の推進	市民講座や学習会等で、伊賀市環境センター及び伊賀市浄化センター「さらら」の職員による環境学習講座を開設します。							
73		施策 3 体験型環境教育の推進	自然観察会や野外実習等を通じた体験型の環境教育を行います。							
74		資源ごみの回収、ごみクリーン活動を通した体験型の環境学習を行います。								
75	施策 4 人材の育成と活用	市職員が率先して環境知識や意識向上を図るため「伊賀市EMS」の取り組みを通して自覚研修等を推進します。								
76		環境活動に携わっている人や有識者に講師を依頼するなど、積極的に環境学習や研修等を行っていきます。								
77		本市のHPを活用して、環境啓発に関する動画を発信していきます。								
78		本市の環境政策を担う人材の育成を計画的に行っていきます。								
79		「伊賀城和定住自立圏共生ビジョン」に基づき、幼少期から圏域住民としての一体感を養うための交流を通して、エリアプライド（圏域の誇り・自尊心）の醸成に取り組みます。								
	基本施策（２）環境保全活動への参加の啓発									
80		施策 1 環境保全活動の体制づくりの推進	市民・市民団体・地域・事業者等による自主的な活動の活性化を促進するため、助言や支援を行います。							
81			市民・市民団体・地域・事業者・行政等が協力して環境保全活動に取り組みやすい体制づくりを推進します。							
82		環境に係る新技術、先進事例、国等のエネルギー施策の最新動向について積極的に情報収集・整理し、環境セミナー等を通じて、市民・市民団体や地域及び事業者へ情報発信します。								

伊賀市環境基本計画 進行管理シート

施策 No.			施策	各施策内容	担当所属等	中間達成目標 (事業内容及び指標) (2023～2026)	K P I (上段：目標／下段：実績)				備考
							2023	2024	2025	2026	
83			施策 2 環境保全活動に対する意識啓発	市民、市民団体、地域や事業者向けに出前講座を開催し、環境保全活動に関する情報を提供することで、環境保全活動への意識の向上を図ります。							
84				「伊賀城和定住自立圏共生ビジョン」に基づき、圏域内で連携し、河川環境保全への意識の高揚・定着を図る啓発事業を行います。							

伊賀市環境基本計画 基本目標別『数値目標』

施策 No.	数値目標				数値目標に対する年度別目標 (上段：目標／下段：実績)				担当所属等	備考
	指標（事業内容）	原状値	2025	2030	2023	2024	2025	2026		
1	基本目標 1 地球環境 気候変動への対応等による地球環境の保全									
	温室効果ガス排出量合計（千t-CO ₂ ）	1,478 (2013)	1,138	798						
2	基本目標 2 資源循環 持続可能な資源循環の推進									
	ごみ総排出量 (t/年)	27,416 (2019)	25,126	25,052						
3	基本目標 3 豊かな自然 豊かな自然と生物多様性の保全									
	まちづくりアンケート「豊かな自然 環境が守られ次代へ引き継いでい る」満足度（％）	65 (2020)	68	70						
4	基本目標 4 生活環境 安心・安全に暮らせる生活環境の確保									
	河川水の環境基準達成率（％）	85.7 (2019)	85.7	100						
5	基本目標 5 文化環境 歴史・文化を暮らしに活かす文化環境の確保									
	まちづくりアンケート「歴史や文化 遺産を守り、未来へと引き継いでい る」満足度（％）	67.2 (2020)	68	69						
6	基本目標 6 環境教育 環境教育・環境学習の推進									
	市の環境講座回数（回）	0	2	4						
	啓発動画の平均視聴件数（件）	0	50	100						